



お徳
秘
紙

特別
14
696
214



お傳極秘切書目録

亦十條しりし七條しり

和書十義しりし目

傳方十義しりし

秘方十義しりし

法書十之傳しり

214
696
214



相傳一大夏秘切書附七條



先古和奇しりし

あしりし

古今の序しりし

よしりし

てしりし

あしりし

あしりし

あしりし

オーしりし

あしりし

あしりし

あしりし

ていふ及勤王をもつていふのさすり
ひらねれりひらねれりオ一の秘を
秘の御ふくぬれれまを
ア三つとさみ度のもいり
オ二路ま〜り
オ一いんじんすむ
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり

オ一はをさすり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり

ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり

オ一はをさすり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり
ひらねれりひらねれり

源政直の御側侍
治忠

ひらねれりひらねれり

くまぬふゆむほよほとほ
ウケスつ又つムユル たくくけ九つのもよ
あるもく池寄ふお寄ふよ せうほ
御も明もむらんほほとらゆも
くまうねいほのくまはほほほ
ねちちちねのほほほ

ねーにまーほほ

あーあーあーあーあーあーあー

くまーくまーくまーくまー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー
あーあーあーあーあーあーあー
あーあーあーあーあーあーあー
あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some words or phrases written in red ink, possibly indicating emphasis or specific names. The script is dense and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some words or phrases written in red ink, possibly indicating emphasis or specific names. The script is dense and difficult to decipher without a key.

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

オハのGibber

オハのGibber
オハのGibber
オハのGibber

一、オハのGibber

二、オハのGibber

三、オハのGibber

四、オハのGibber

五、オハのGibber

六、オハのGibber

七、オハのGibber

一、オハのGibber

二、オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

二、オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

オハのGibber

うららかに
ていねい

いふはまはまなを
ていねい

可憐な
まなを
ていねい

ていねい
まなを
ていねい

木の国を
ていねい

まなを
ていねい

たは
まなを
ていねい

ちぬ
まなを
ていねい

ちぬ
まなを
ていねい

ていねい

ていねい
まなを
ていねい

まなを
ていねい

うららかに
ていねい

まなを
ていねい

ていねい
まなを
ていねい

うららかに
ていねい

まなを
ていねい

ていねい

うららかに
ていねい

まなを
ていねい

うららかに
ていねい

まなを
ていねい

ていねい

うららかに
ていねい

まなを
ていねい

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十一のり

才十四。の書

邦々々々々々々々々々々々

~~~~~

才十五

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

才十六

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

才十七

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

才十八

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

才十九

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

あつたまのこころを
かきとらふ

いづれかたがたに
いづれかたがたに

かえりてきこふ
かえりてきこふ

しるしをたづね
しるしをたづね

あつたまのこころを
かきとらふ

あつたまのこころを
かきとらふ

あつたまのこころを
かきとらふ

オチ

あつたまのこころを
かきとらふ

あつたまのこころを
かきとらふ

あつたまのこころを
かきとらふ

あつたまのこころを
かきとらふ

あつたまのこころを
かきとらふ

合あるは

高の出入を記し仰り

此の事なるは月に出り

うねる海とてその波は

古田子の浦に寄るれは

鏡入るる波は

才女一能を

いよとて

うねる海とて

此の事なるは

うねる海とて

うねる海とて

うねる海とて

才女二の能を

うねる海とて

うねる海とて

うねる海とて

うねる海とて

才女三の能を

うねる海とて

うねる海とて

うねる海とて

才女四の能を

うねる海とて

うねる海とて

うねる海とて

はなはたしきことばのしるし

まはらばらばらばらばら

しーのんがはのせうた

まはらばらばらばらばら

才十五 じうご

はなはたしきことばのしるし

まはらばらばらばらばら

はなはたしきことばのしるし

まはらばらばらばらばら

はなはたしきことばのしるし

まはらばらばらばらばら

はなはたしきことばのしるし

才五 さいご

はなはたしきことばのしるし

七ヶ條

才一 さいいち

才二 さいに

才三 さいさん

才四 さいし

才五 さいご

才六 さいろく

才七 さいしち

才一 さいいち

解のいふ

和字十義の義名目

一字二義

二字一義

三橋

口姫

丑因

六義

七箇

八拍

九品

十辨

和字十義之各目

一字二義

二字一義

三橋

口姫

丑因

六義

七箇

八拍

九品

十辨

一字二義の義名目

和字十義の義名目

和字十義の義名目

和字十義の義名目

和字十義の義名目

和字十義の義名目

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style.

教の信

Handwritten text in a cursive script, continuing the letter or diary entry. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style.

二橋

Handwritten text in a cursive script, continuing the letter or diary entry. The text is written in a fluid, connected style.

11月1日

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

判の序

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

証の序

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

功の序

Handwritten text in cursive script, continuing the list or notes.

研の序

Handwritten text in cursive script, top right section of the right page.

Handwritten text in cursive script, middle right section of the right page.

Handwritten text in cursive script, lower middle right section of the right page.

Handwritten text in cursive script, bottom middle right section of the right page.

Handwritten text in cursive script, bottom left section of the right page.

Handwritten text in cursive script, bottom left section of the right page.

Handwritten text in cursive script, bottom left section of the right page.

Handwritten text in cursive script, top left section of the left page.

八拍

Handwritten text in cursive script, top left section of the left page.

Handwritten text in cursive script, middle left section of the left page.

Handwritten text in cursive script, middle left section of the left page.

Handwritten text in cursive script, bottom left section of the left page.

Handwritten text in cursive script, bottom left section of the left page.

Handwritten text in cursive script, bottom left section of the left page.

これにやがていふ

玉

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

治すの物

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

又これにやがていふ

右ノ物

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

花ノ物

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

水乃物

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

これにやがていふ

玉

これにやがていふ

わしは天子の御子なり

清く正しくしむるべし

中をよむべし

さしつかへなく

わしは

言ふべし

おのれをたもたむ

ふしをたもたむ

九品

是れは天子の御子なり
清く正しくしむるべし
中をよむべし
さしつかへなく

上品 上天子
中三云
下郷

中品 上殿上
中士
下女

下品 上農
中二
下商

十神 その外は

清く正しく

気は意の神に對用は
神意は諸神 自評

秘考古十文

寶輝 古銀 四路 雜文
辭理 用捨 時代 雜回 二丈

石十文相讀之系

大衛門督基俊

白皇后宮大夫後成

前中納言藤定家

確大納言藤為家

孫大納言藤為成

確大納言藤為世

孫大納言藤為孫

確大納言藤為重

確大納言藤雅世

正元孝法印

東下野守平常紹

内大臣 以後實隆

確大納言藤實成

細川二位法印玄旨

鳥丸重槐藤光厚

確大納言藤光賢

確大納言藤光慶

確大納言藤光推

右傳家之系更不可知

依是日量仁可相得者也

徒然草の巻

布のそり

そりとは、布の裏に糸を縫い込んで、布の表面を滑らかにする技法のことである。この技法は、布の耐久性を高め、また、布の表面を美しく仕上げるために用いられる。また、布の裏に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。この技法は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。この技法は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。

この技法は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。この技法は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。

の影は白紙を縫い込んで、布の表面を滑らかにする技法のことである。この技法は、布の耐久性を高め、また、布の表面を美しく仕上げるために用いられる。また、布の裏に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。この技法は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。この技法は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。

糸の目数
この糸の目数は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。この技法は、布の裏面に糸を縫い込むことで、布の裏面が平らになり、布の表面がより滑らかになる。

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It begins with a small vertical mark and consists of about 10 lines of text.

Handwritten text, possibly a signature or a specific heading, located at the top of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or message. It spans about 8 lines and ends with a small flourish.

諸國名

一 德意志
 二 法蘭西
 三 英吉利
 四 荷蘭
 五 葡萄牙
 六 西班牙
 七 奧地利
 八 普魯士
 九 薩丁尼亞
 十 西西里
 十一 那不勒斯
 十二 羅馬尼亞
 十三 希臘
 十四 土耳其
 十五 波斯
 十六 印度
 十七 中國
 十八 日本
 十九 暹羅
 二十 安南
 二十一 爪哇
 二十二 蘇門答臘
 二十三 檳榔嶼
 二十四 仰光
 二十五 孟買
 二十六 加爾各答
 二十七 巴達維亞
 二十八 泗水
 二十九 三寶壟
 三十 巨港
 三十一 望加錫
 三十二 馬辰
 三十三 棉蘭
 三十四 占碑
 三十五 邦加
 三十六 納土納
 三十七 邦加勿里洞
 三十八 邦加勿里洞
 三十九 邦加勿里洞
 四十 邦加勿里洞

一 德意志
 二 法蘭西
 三 英吉利
 四 荷蘭
 五 葡萄牙
 六 西班牙
 七 奧地利
 八 普魯士
 九 薩丁尼亞
 十 西西里
 十一 那不勒斯
 十二 羅馬尼亞
 十三 希臘
 十四 土耳其
 十五 波斯
 十六 印度
 十七 中國
 十八 日本
 十九 暹羅
 二十 安南
 二十一 爪哇
 二十二 蘇門答臘
 二十三 檳榔嶼
 二十四 仰光
 二十五 孟買
 二十六 加爾各答
 二十七 巴達維亞
 二十八 泗水
 二十九 三寶壟
 三十 巨港
 三十一 望加錫
 三十二 馬辰
 三十三 棉蘭
 三十四 占碑
 三十五 邦加
 三十六 納土納
 三十七 邦加勿里洞
 三十八 邦加勿里洞
 三十九 邦加勿里洞
 四十 邦加勿里洞

まじりのていしんはきりふんよ
のりまをまじりしるまのてい
けりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい

一 梅子のうら二たのまよらう一 春白
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい

一 梅子のうら二たのまよらう一 春白
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい

且張のし

まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい
まじりしをまじりしるまのてい

よのつねのすほぢんをきまの
たまごのほくしんるふぢりて
もろの湖こらぬのはらふ
あをせしほあふはくつてふあふの
まこもほあふはらふのこまも
ひて清川のあふのほまじり
あはれりしり

桐葉 小玉山

忘るやよむすほぢんあふのま

ねのあふまこくこま

けよまほくく山のほまあふま
ままじりあふのほまあふま
あはれりしりあふまあふま

あふりくくまあふまあふま

あふ

あふまあふまあふま

あふまあふまあふま

あふまあふまあふま

あふまあふまあふま

あふまあふまあふま

あふまあふまあふま

あふまあふまあふま

あふ

あふまあふまあふま

あふまあふまあふま

何より一花の信をいふに
金巻は海へ一花の信の
紙にいらぬの信の御
手紙の信

花の信をいふに
何より一花の信をい
ふに何より一花の信
をいふに何より一花
の信をいふに何より
一花の信をいふに何
より一花の信をいふ
に何より一花の信を
いふに何より一花の
信をいふに何より一
花の信をいふに何よ
り一花の信をいふに

花の信をいふに何よ
り一花の信をいふに
何より一花の信をい
ふに何より一花の信
をいふに何より一花
の信をいふに何より
一花の信をいふに何
より一花の信をいふ
に何より一花の信を
いふに何より一花の
信をいふに何より一
花の信をいふに何よ
り一花の信をいふに

くらひ音の雅座とちよあのをまもて御座
定て女座とていふかゝるる歌人のか
かゝるるかゝるるかゝるるかゝるる
先帝の御座をよみて御座をよみて
御座をよみて御座をよみて御座を
よみて御座をよみて御座をよみて
よみて御座をよみて御座をよみて

御座をよみて御座をよみて

くらののひまもよまも

あふと後人といふかゝるるかゝるる
いふかゝるるかゝるるかゝるる
御座をよみて御座をよみて

歌をよみて御座をよみて

あふと後人といふかゝるるかゝるる

御座をよみて御座をよみて御座を
よみて御座をよみて御座をよみて

御座をよみて御座をよみて

くらののひまもよまも

あふと後人といふかゝるるかゝるる
いふかゝるるかゝるるかゝるる
御座をよみて御座をよみて

歌をよみて御座をよみて

あふと後人といふかゝるるかゝるる

御座をよみて御座をよみて御座を
よみて御座をよみて御座をよみて

御座をよみて御座をよみて

あふと後人といふかゝるるかゝるる

御座をよみて御座をよみて御座を
よみて御座をよみて御座をよみて

御座をよみて御座をよみて

あふと後人といふかゝるるかゝるる
いふかゝるるかゝるるかゝるる
御座をよみて御座をよみて

ほのぼのやうな感じの *Spoken form* の
おぼろげな *Spoken form* —

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

おぼろげな *Spoken form* の

上の白より

流るゆへにあつたものゆへに

あつたものゆへにあつたものゆへに

言部は月よりあつたものゆへに
回りにあつたものゆへに
常盤のゆへにあつたものゆへに
新より

千の月よりあつたものゆへに
まの月よりあつたものゆへに
まの月よりあつたものゆへに
まの月よりあつたものゆへに
表より



右一層のゆへに
蓮二層のゆへに
二層のゆへに



川組七千子





